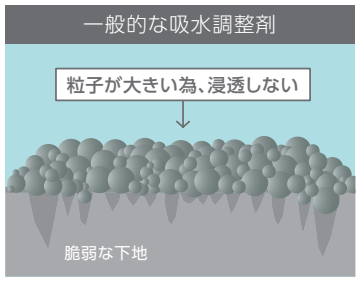
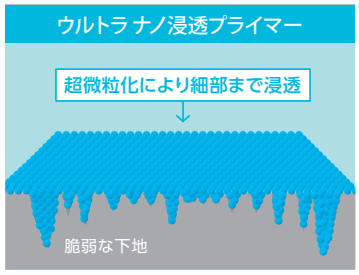
ウルトラ ナノ 浸透(しんとう)プライマー

nippon plaster since1929

浸透型表面強化剤 兼 アク止め剤〈水性・カチオンタイプ〉

独自のナノテクノロジーにより、
ポリマー粒子を分子に近いサイズまで微粒化。
従来の吸水調整剤では困難な高い浸透性を実現!
下地の表面強化+アク止め効果に高いパフォーマンスを発揮!





01 超微粒径ポリマーがコンクリートやモルタルなど無機質系下地の脆弱部に浸透し、下地を強化

02 合板・古壁から発生するアクを抑え、漆喰仕上げなど塗り壁施工の下地処理に最適

03 様々な下地と多様な仕上げ材に対応できる密着性に優れたカチオン性タイプ

04 水性一液タイプの原液使用(希釈不要)

一般的な吸水調整剤はポリマー粒子径が大きく光を反射するので白く見えます。ウルトラナノ浸透プライマーは粒子が極めて小さいためほぼ透明に見えます。

表面強化に効果のある下地

- ☑ 雨打たれやドライアウトしたコンクリート・モルタル
- ☑ 硬化不良を起こしたセルフレベリング材
- ☑ ALC板・ブロック・大谷石・スレート板・ケイ酸カルシウム板(吸水が激しい下地)
- ☑ 漆喰・土壁・古壁(京壁・繊維壁・砂壁など)
- ☑ チョーキングした仕上げ材 など

※金属、プラスチック類、ペンキ等の吸い込みがないものには、下地強化の効果は期待できません。

アク止めに効果のある下地

- ☑ 合板各種
- ☑ 漆喰・土壁・古壁(京壁・繊維壁・砂壁など)

標準仕様

製品名	主成分	標準調合	標準塗布量(g/㎡)	標準施工面積	製品荷姿
ウルトラナノ浸透プライマー	アクリル樹脂エマルション	原液	200~400	35~70㎡	14kg(プラスチック缶)
				10~20㎡	4kg(ボトル)

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1904026
放散等級区分	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.nsk-web.org/

下地種類に関しては、裏面の「表面強化剤として」「アク止め剤として」、それぞれの使用方法をご確認ください。

Best Walls, Best Life しっくい と共に

日本プラスター株式会社

ウルトラナノ浸透プライマーの使用方法

表面強化剤として使用する場合

下地種類による塗布量と塗布回数

下地種類	目安の塗布量（g/㎡）	塗布回数（回）
雨打たれやドライアウトしたコンクリート・モルタル	200~400	1~2
漆喰・古壁（京壁・繊維壁・砂壁など）		
ALC・ブロック・土壁・大谷石スレート板・ケイ酸カルシウム板	200~400	2

1 下地処理

著しく劣化した脆弱下地はポリッシャー、サンダーなどで除去してください。ホコリや油分など付着物は完全に除去してください。

2 塗布

刷毛やローラー、噴霧器などで原液のまま塗布してください。
※吸い込みの多い場合は、状況に応じて1時間以内に数回塗布してください。

3 次工程

プライマー塗布面が乾燥していることを確認後、用途に適した仕上げ材、下地調整材を標準仕様にしたがって施工してください。

アク止め剤として使用する場合

下地種類による塗布量と塗布回数

下地種類	目安の塗布量（g/㎡）	塗布回数（回）
合板各種	200	2~3
漆喰・古壁（京壁・繊維壁・砂壁など）土壁	200~400	2~3

1 下地処理

ホコリや油分など付着物は完全に除去してください。古壁で表層がボロボロ落ちる場合は、脆弱部を除去して掃除機等で下地を清掃してください。

2 塗布

刷毛やローラー、噴霧器などで原液のまま塗布してください。
※アク止めを目的とする場合は、必ず2回塗布してください（合板種類や古壁の劣化状態により、3回塗布が必要な場合があります）。

3 次工程

プライマー塗布面が乾燥していることを確認後、用途に適した仕上げ材、下地調整材を標準仕様にしたがって施工してください。

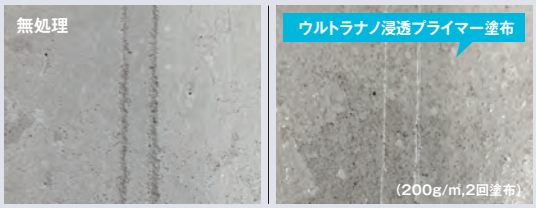
●ウルトラナノ浸透プライマーを塗布し、塗布間隔が過ぎた後や、下地において飽和状態で再度塗布した場合、浸透せずフィルム状の膜となる場合があります。●塗布しすぎてたまりができた場合は、ウエス等で拭き取ってください。●気温3℃以上での施工を心がけてください。●直射日光を避けて常温で保管してください。●落下、破損がないように荷崩れ防止等に配慮してください。●漏れ出た液体は、布などで吸い取るか、セメント、オガ屑、土砂などを混ぜ、モルタル状として凝固回収してください。●使い切る量に小分けして使用してください。●施工後、使用した道具は容器内に放置せず必ず洗浄してください。●製造日をご確認ください。使用期限は12ヶ月です。

ウルトラナノ浸透プライマーの性能

引っ掻き試験による表面強度比較

日本建築仕上学会式 引っかき試験器、加圧力1.0kg

脆弱モルタル



傷幅2.5~3㎜　　傷幅0.4~0.5㎜

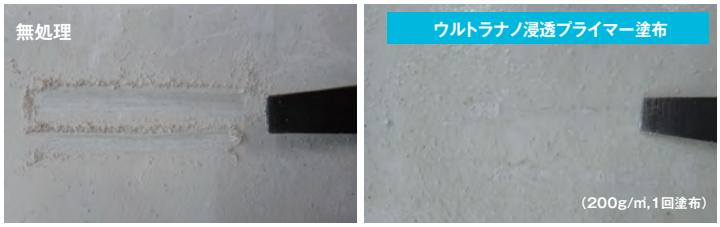
脆弱しっくい

傷幅2㎜　　傷幅1.2~1.3㎜

付着強さ試験による表面強度比較（脆弱モルタル）

0.1N/㎟［表層から破断］　　0.4N/㎟［内部から破断］

ドライバー試験による表面強度比較（脆弱セルフレベリング材）



傷つき、大きく削れる　　ほとんど削れない

注意事項

〈使用上の注意〉
●取扱い時は必ず保護具　(保護手袋・保護眼鏡・マスク等)を着用してください。●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
●取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。
〈応急処置〉
●目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
●誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。
〈運送上の注意〉
●袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。●転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。●湿気、水濡れに注意してください。
〈廃棄上の注意〉
都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
〈漏出時の注意〉
飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。

nippon plaster since1929

日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代)FAX:0283-62-8851
東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
〈SHIKKUI Design STUDIO -TOKYO-〉
西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市之町170
TEL:075-406-5031(代)FAX:075-406-5032

E-mail:info@plastesia.com

日本プラスター　検索

2023.09_D